

今日の説教のポイント<マタイによる福音書 16 章 13~28 節>

① ペトロに「あなたはメシア、生ける神の子です」と言わせたもの。

ペトロがイエス様のことを呼んだ「メシア」とは、旧約聖書で「神に油注がれた者」を意味し、神様が立てられた王や預言者など重要な役割を担う者に使われています。ペトロはさらに「**生ける神の子**」と表現しました。イエス様をただ偉大な預言者だとかいうのではない、別次元の存在として考えていることが分かります。しかし、そんなペトロもこの直後にイエス様が「自分は殺される」と告げると、「そんなとんでもないことは言わないように」とイエス様を諫めたのです(22)。ペトロにしてこうなのですから、イエス様についての私たちの理解も怪しいものです。しかし、ペトロと同様に、もし私たちがこのお方の中に他では見出せない赦し、愛、励ましを覚えることができたとしたら、それを導いて下さったのは、「**人間ではなく、私の（イエス様の）天の父**」(17)なのです！

② ペトロ（岩）の上に私の教会を建てる、と言われたことの意味。

バルヨナ・シモンがペトロと呼ばれるようになった経緯が記されています。①に記したように、ペトロはこの後すぐにトンチンカンな言動をし、ついには三度もイエス様を「知らない」と言った人間です(26:74-75)。主はそんなペトロに、「**私はこの岩の上に私の教会を建てる**」(18)と言われたのです。どうしてでしょうか？ イエス様は後にペトロに、「**私はあなたのために、信仰がなくならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちをカづけてやりなさい**」(ルカ 22:32)と言われました。イエス様はペトロがどういう人間かは分かっておられたのです。ペトロその人の中に選ばれる理由（優れた点は何か）を探すのではなく、彼のような人を選び用いて下さる神様のことを考えることが重要なのです。どうしようもないことをしてしまったペトロをなお見捨てず、赦し、用いたもう神様のことをです。ペトロは私たちの代表なのです。彼に見倣うとしたら、イエス様の言葉に従い、兄弟たちを励まして生きたこの後の姿でしょう。